

提 言 書

平成31年 3 月 25 日

枕崎市行政改革推進委員会

平成30年度の枕崎市行政改革推進委員会

1 日時 平成31年3月19日（火） 午後2時30分～4時27分

2 場所 枕崎市役所 本館2階会議室

3 出席者

（枕崎市行政改革推進委員会委員）

会長 中村 みほり，会長代理 立石 健太郎，瀬戸口 久人，畠野 宏之，木浦 博美，積山 ユミ子，上釜 いほ

合計7名出席（欠席委員3名：白窪 義広，上野 稔，品川 賢治）

（市長，副市長，関係課係長，委員会の庶務〔企画調整課〕）

市長 前田 祝成，副市長 小泉 智資

企画調整課長 東中川 徹，企画調整課参事 平塚 孝三，総務課主幹兼職員係長 沖園 信也，財政課主幹兼財政係長 橋口 和洋，企画調整課政策推進係長 山元 恵子，企画調整課政策推進係主任 石場 博和

4 審議事項

(1) 第3次枕崎市行財政集中改革プランの取組成果について

(2) 新たな行財政改革の取組（仮称：枕崎市行財政改革推進計画）について

枕崎市行政改革推進委員会において，上記の事項について審議し，行政改革に対する意見として取りまとめました。

社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政を推進することと，更に魅力あるまちづくりが推進されることを期待し，後述する内容を枕崎市行政改革推進委員会の提言とします。

平成31年3月25日

枕崎市行政改革推進委員会

会長 中村 みほり

枕崎市行政改革推進委員会（平成31年3月19日開催）の提言

提言① 住民サービスの向上について

これからの行政改革を考えたときに、市民生活の現状をどう捉えるかという視点が必要であると考えます。市民サービス向上のため、特に、市民生活に対する取組の薄い部分にも注力できるよう、市民の実態や生活環境を踏まえたうえで、予算を組み、施策を展開していただきたい。

提言② 職員の適正配置及び人件費の見直しについて

人口減少が進む中で、市民生活は変化してきている。職員数の減少も見込まれる中で、人員配置や課を越えた協力体制の構築等を行政改革に関わる問題として捉え、取り組んでいただきたい。

提言③ 意見聴取の場について

企業や団体の代表者だけではなく、雇用者を含め様々な立場の方々の意見を聞けるような機会があれば、違ったアイデアも出てくると考えられることから、市民の意見聴取の機会の確保に努められたい。

提言④ 第三セクターの経営健全化について

第三セクターの経営健全化に向けた取組は必要であるが、行政改革の中でそれぞれの第三セクターをどう位置付け、どう考えていくのかを、民間への影響も鑑みながら検討されたい。

提言⑤ 水道課と下水道課の統合について

水道課と下水道課が統合することは、市民サービスの向上につながる良いことであると考えます。法改正や人口減少等による事業の収束化など、現状を踏まえて事業を実施されたい。

提言⑥ 人事評価制度について

人事評価制度について、民間ではすでに取り入れており、意欲の向上や気運の醸成といった効果も期待できることから、活用について検討されたい。なお、自治体の業務は評価の客観性や公平性を確保することが難しいことから、評価方法等について研修を重ね取り組んでいきたいということであるが、偏見等につながることはないよう、慎重に取り組まれたい。

提言⑦ ふるさと応援寄附の推進について

ふるさと応援寄附について、寄附者に対するお礼状の送付は、良い取組である。継続して寄附していただけるよう、他市町村とは違った取組に努めていただきたい。